

ここからは西側ルートの名所を紹介します。

西側ルート名所



ソケイ山頂よりの眺め



ソケイ・マングローブ



ナンケウイ滝



キューピット



パリーキール

COM



トレ・チキチック



大ウナギ



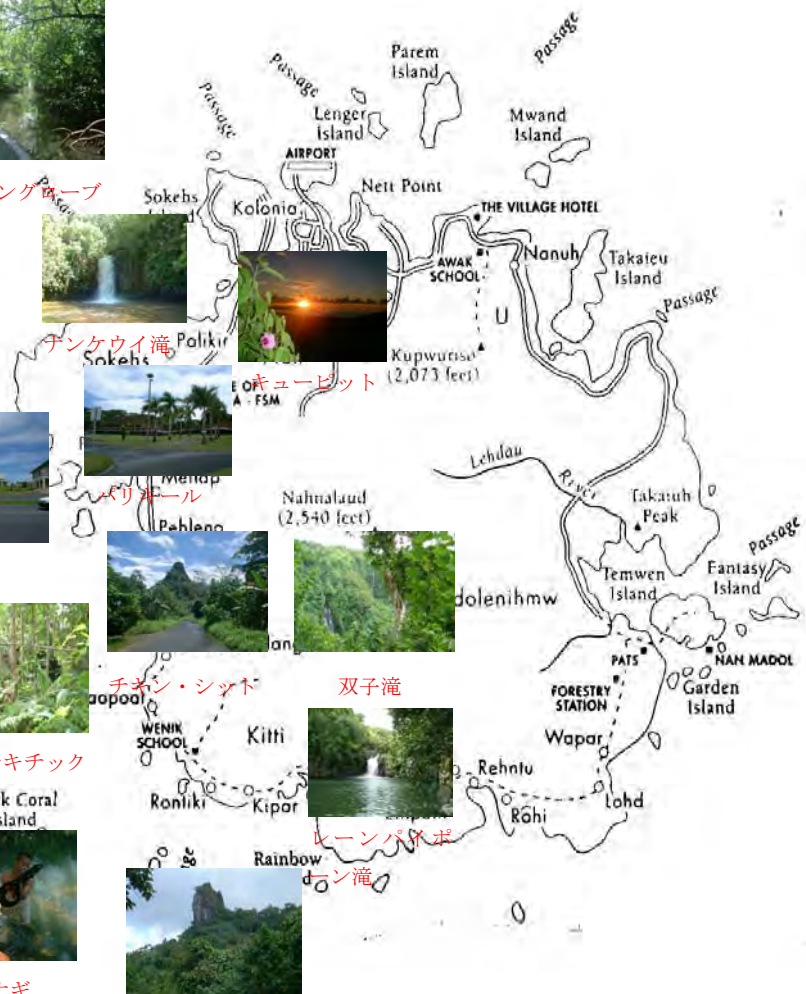
双子滝



レーンパイボンの滝



シレウー山



上図はコロニアの私の事務所から西側の名所の概略です。メイン道路沿いに見える名所も有りますが、いずれの場所もポンペイの方の同伴を奨めます。

名称	名称
1 ソケース山登山	8 トレ・チキチック (遺跡)
2 ソケース・マングローブ林探訪	9 大ウナギ
3 ナンケウイの滝	10 双子滝
4 キューピット	サワールラップの滝
5 パリーキール (ミクロネシア連邦首都)	サワールチックの滝
6 COM (ミクロネシア短期大学)	11 レーンパイボンの滝
7 チキン・シット山	12 シレウー山

1. ソケース山登山（ハイキング）

ソケース島に通ずるソケース橋を渡るとソケース自治区役所があり、そこにポンドラップ／日本時代の砲台と記した標識があります。そこから少し進んで車を止め登山（ハイキング）を開始します。ポンドラップはソケース山頂にある250メートル位の高原と説明されていますが草や林に覆われております。しかし、ここに至るとアンテナが見える山頂(275メートル)迄はなだかな道が続き汗を掻かずに山頂に達してしまいます。高原である事がわかります。山頂からは港や空港滑走路、珊瑚礁やランガル島、市内の景色が一望に見渡せます。ソケイロックも違った角度から鑑賞出来ます。先の大戦中、ここには砲台が築かれておりました。その砲台やトーチカ跡を見る事が出来ます。山頂には無名戦士の碑もあります。高原の端に至るまでは結構坂が続きますので無理をせずに進む事と案内人を同伴して下さい。一度は登頂される事を奨めます。



無名戦士の碑

山頂からの眺めです。コンチネンタルグアム行きが到着してきました。



（接岸してる白い船は『凌風丸』、右側の新岸壁は日本の援助で近日中に完成予定）

2. ソケースマングローブ林探訪



ソケース一帯に広がってるマングローブの林を船外機付きボートかカヌーで探訪するのも楽しいものです。

満潮時近くに船出します。

青々と茂った林の中を進むと感動の声を上げる方が殆どです。

マングローブの根元付近の奇妙な姿は一見に価します。

我々が後世に残さねばならぬ自然です。

ポンペイの方、可能ならばソケース地区の知合いの方に依頼してボートを手配してもらうのがベターです。

3. ナンケウイの滝 (Nankewi Waterfall)



ソケース自治区にあり、コロニアの目と鼻の先でパリキールに向かう道中、ソケースショッピングセンター手前近くの民家の庭下を通して15分程度でアクセス出来ます。案内人が必要です。案内書にはボートで、しかも満潮時にしかアクセス出来ぬとありましたので一度挑戦しましたが水路不案内で成功しませんでした。

この滝はポンペイ島の海岸沿いにある唯一の滝だとの事です。滝からの水はマングローブ林を通って海に向かって流れていますが、川岸の少し奥には日本統治時代の建造物と思われる物があります。人家の近くであるが雨が多く植物の成長が早い環境下では、人が接近しないと瞬間に全ての建造物はジャングルに埋没する好例と言えます。

4. キューピット



コロニア市内の外れにオーストラリア大使公邸がある丘があります。



ここにキューピットバーがあり、ビールを味わいながら港やソケイの眺め、そして夕陽が楽しめます。

日没は18:15頃ですので、その前に一度夕陽鑑賞に行っては如何ですか、遠くにパッキン島が見えます。その上に夕陽が沈みます。雄大でもあり感動的でもあります。

5. パリキール（ミクロネシア連邦首都）／Palikir(FSM Capital)



コロニアから車で約15分の地、パリキールにミクロネシア連邦の首都があります。全ての国家機能がここに集中しております。ミクロネシア連邦の霞ヶ関です。1989年に完成しました。南国風の建物群と、ここの静けさを見ておられますと喧騒、混雑の某国の役所街を思い出し感慨を新にしています。ここには食堂(レストラン)がありません。

6. COM (College of Micronesia) / ミクロネシア短期大学



パリキールから5分程南下すると広い敷地とCOMの全貌が視界に入ってきます。ミクロネシア連邦での最高の教育機関です。生徒は各州、及び近隣諸国から集まっております。

1994年に建てられております。

アメリカやオーストラリアを始め数カ国から来たボランティアの教師達が教鞭を取っております。

日本のボランティアも来ております。

大きな体育館も建設中です。

7. チキン・シット山 (Mt.Pwisehn Malek)



COMから南下すると直ぐこの山が現れます。勿論COMからも見えます。玄武岩柱で出来た岩山で道中気になる山です。その名の通り別名『鶏糞山』、伝説からこの名が付いたそうです。対向車に注意して訪問の記念撮影をして下さい。

8. トレ・チキチック (Dole Tikitik) / 遺跡

Kitti(キチ)自治区にあり、コロニアから車で40分位を要します。石で作られた建物です。かつては戦いに備える場所であると共に酋長の屋敷であったとも言われております。この遺跡は精霊達との交信の場であったと言い伝えられています。この神聖な地も今は地元の方達もめったに訪れないのか草木が茫々としています。キチ自治区の中心から近い距離ですが背丈位の高さの雑草を掻き分けて進みます。写真では石垣がかろうじて見えますが、中々神秘的な佇まいです。



9. 大ウナギ (Eel Place)



当地でウナギは神聖なものとして敬われております。あちこちの川で見る事が出来ます。キチ自治区には近い距離内で2箇所、大きなウナギが見れるポイントがあります。訪問した際、ウナギを呼び寄せるために餌（魚の缶詰や腐りかけた魚が良い）を撒いてくれます。たちどころに数匹の大ウナギが現れてくれます。双方のポイントではいつも数人の女性達が洗濯をしています。洗濯をしている女性達の傍らに大ウナギ、ウナギは子孫繁栄の神と思わずにいられません。コロニアから45～50分を要します。